

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	J A P P Y エポキシE-128 基剤
供給者の会社名称	因幡電機産業株式会社
住 所	大阪市西区立売堀4-11-14
担当部門	電材カンパニー 商品統括部 J A P P Y 部
電話番号	06-4391-1990
F A X 番号	06-4391-1753

緊急連絡先	同上
住 所	同上
電話番号	同上
F A X 番号	同上
奨励用途及び使用上の制限	接着剤、シール剤
整理番号	30090B-06

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	分類できない 又は 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1(呼吸器系)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	区分1
水生環境有害性（慢性）	区分1
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害(呼吸器系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系)

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

応急処置 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。ただちに医師に連絡すること。

皮膚（又は髪）に付着した場合：ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。ただちに医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚刺激または発しんが生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。

密閉容器に保管すること。

施錠して保管すること。

廃棄 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分情報

主要成分	含有量%	CAS RN
エポキシ樹脂	約 25%	-
無機充填剤	約 70%	471-34-1 65997-15-1 他
顔料・その他	約 5%	-

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

- ・結晶質シリカ 約0.21%含有
- ・ポルトランドセメント 約11%含有
- ・無機マンガン化合物 約0.11%含有

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。ただちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。ただちに医師に連絡すること。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂等
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特定危険有害性 特有の消火方法	燃焼すると刺激性あるいは有毒なフェームやガスを放出する。 火災発生の場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止し、消火作業は可能な限り風上から行う。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用する。
消火活動を行なう者の特別な 保護具及び予防措置	適切な保護具を着用し、風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護 具および緊急時措置	作業の際は適切な保護具を着用し、作業すること。 付近の着火源を取り除くこと。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び 機材	ウエス、雑巾等でよく拭き取ること。
二次災害の防止策	ウエス、雑巾等でよく拭き取ること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用すること。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 適用される関連法規に準拠して作業すること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 換気の良い場所で使用すること。 皮膚への接触を避けるため保護手袋を着用すること。 取扱い後は、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。

接触回避	10. 安定性および反応性参照
保管	
保管条件	
容器包装材料	製品使用包装材に準ずる。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

許容濃度	設定されていない
設備対策	屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。 取扱い場所は給排気が十分取れる設備とすること。 取扱い場所に洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器用保護具	有機ガス用防毒マスク
手の保護具	不浸透性手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型・保護面）
皮膚及び身体の保護具	一般長袖衣類
特別な注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	固体（パテ状）
色	ダークグレー色
臭い	エポキシ臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に難溶解
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	約 2.0 (20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	通常の実験条件においては安定している。
化学的安定性	常温付近では単独で危険な反応はしない。

危険有害反応可能性	エポキシ樹脂用硬化剤（アミン類・酸無水物類等）と反応する。 強酸化剤、強酸、強アルカリと反応する。 過剰の硬化剤と激しく反応し発熱する。
避けるべき条件	加熱、着火源、水の接触
混触危険物質	強酸化剤、強酸、強アルカリ、アミン類
危険有害性な分解生成物	燃焼すると刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	データ不足のため分類できない。混合物の約 31%は急性毒性(経口)が未知の成分からなる。
急性毒性(経皮)	データ不足のため分類できない。混合物の約 99%は急性毒性(経皮)が未知の成分からなる。
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない。GHS の定義における固体である。
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない。GHS の定義における固体である。
急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	データ不足のため分類できない。混合物の約 99%は急性毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分からなる。
皮膚腐食性/刺激性	皮膚区分 1 の成分が 5%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1 とする。混合物の約 64%は毒性が未知の成分からなる。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	眼区分 1+皮膚区分 1 の成分が 3%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1 とする。混合物の約 63%は毒性が未知の成分からなる。
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	皮膚感作性 区分 1 の成分が 1%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1 とする。混合物の約 74%は毒性が未知の成分からなる。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。混合物の約 75%は毒性が未知の成分からなる。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。混合物の約 75%は毒性が未知の成分からなる。
特定標的臓器毒性(単回)	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1(呼吸器系)の成分が 10%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1(呼吸器系)とする。混合物の約 68%は毒性が未知の成分からなる。
特定標的臓器毒性(反復)	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1(呼吸器系)の成分が 10%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1(呼吸器系)とする。混合物の約 68%は毒性が未知の成分からなる。
誤えん有害性	データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期(急性)；区分1×Mの成分が25%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分1とする。混合物の約74%は毒性が未知の成分からなる。 水生環境有害性 長期(慢性)；区分1×Mの成分が25%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分1とする。混合物の約74%は毒性が未知の成分からなる。
残留性と分解性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動度	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)	産業廃棄物に準ずるものとして、許可を受けた専門業者にその処理を委託すること。
化学品の付着している容器及び包装	廃棄に際しては国、各自治体の適切な法律、条令等に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	UN 3077
品名(国連輸送名)	環境有害物質(固体)
国連分類	クラス9
容器等級	Ⅲ
安全対策	輸送に際しては、容器の破損のないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 ・結晶質シリカ 約0.21%含有 ・ポルトランドセメント 約11%含有 ・無機マンガン化合物 約0.11%含有 強い変異原性が認められた化学物質 ・ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	指定可燃物 合成樹脂類 (3000kg)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

- ・この安全データシートは日本国内の SDS に関連する法令に準じて作成しており、記載内容は情報提供を目的とするものであって、保証するものではありません。

記載内容の問い合わせ先

因幡電機産業株式会社 電材カンパニー 商品統括部 J A P P Y 部

電話番号：06-4391-1990 FAX番号：06-4391-1753

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	J A P P Y エポキシE-128 硬化剤
供給者の会社名称	因幡電機産業株式会社
住 所	大阪市西区立売堀4-11-14
担当部門	電材カンパニー 商品統括部 J A P P Y 部
電話番号	06-4391-1990
F A X 番号	06-4391-1753

緊急連絡先	同上
住 所	同上
電話番号	同上
F A X 番号	同上
奨励用途及び使用上の制限	接着剤、シール剤
整理番号	30090H-06

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	分類できない 又は 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害(呼吸器系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系)

水生生物に有害

注意書き

安全対策 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

応急処置 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管 換気の良い場所で保管すること。

密閉容器に保管すること。

施錠して保管すること。

廃棄 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分情報

主要成分	含有量	CAS RN
ポリアミドアミン	約 20%	-
無機充填剤	約 70%	471-34-1 他
顔料、その他	約 10%	13463-67-7 他

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

・結晶質シリカ 約 0.22%含有

・酸化チタン(IV) 約 2.8%含有

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

・トリエチレンテトラミン 管理番号 278 約 1.1%含有 (2023年4月1日以降、第2種指定化学物質)

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。ただちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。ただちに医師に連絡すること。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂等
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特定危険有害性	燃焼すると刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。
特有の消火方法	火災発生の場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止し、消火作業は可能な限り風上から行う。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用する。
消火活動を行なう者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具を着用し、風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	作業の際は適切な保護具を着用し、作業すること。 付近の着火源を取り除くこと。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	ウエス、雑巾等によく拭き取ること。
二次災害の防止策	ウエス、雑巾等によく拭き取ること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用すること。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 適用される関連法規に準拠して作業すること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 換気の良い場所で使用すること。 皮膚への接触を避けるため保護手袋を着用すること。 取扱い後は、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。

接触回避
保 管

10. 安定性および反応性参照

保管条件	直射日光を避け、冷暗所に保管すること。 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。 高温多湿を避けること。
容器包装材料	製品使用包装材に準ずる。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

許容濃度	設定されていない
設備対策	屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。 取扱い場所は給排気が十分取れる設備とすること。 取扱い場所に洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器用保護具	有機ガス用防毒マスク
手の保護具	不浸透性手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型・保護面）
皮膚及び身体の保護具	一般長袖衣類
特別な注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	固体(パテ状)
色	白色
臭い	アミン臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に難溶解
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	約 1.9 (20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	通常の手扱い条件においては安定している。
化学的安定性	常温付近では単独で危険な反応はしない。
危険有害反応可能性	強酸化剤、強酸、炭酸ガス、エポキシ化合物およびイソシアネートと反応する。
避けるべき条件	加熱、着火源、空気および水の接触

混触危険物質	強酸化剤、強酸、炭酸ガス、エポキシ化合物およびイソシアネート化合物等
危険有害性な分解生成物	燃焼すると刺激性あるいは有毒なフェームやガスを放出する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	データ不足のため分類できない。混合物の約 21%は急性毒性(経口)が未知の成分からなる。
急性毒性(経皮)	データ不足のため分類できない。混合物の約 84%は急性毒性(経皮)が未知の成分からなる。
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない。GHS の定義における固体である。
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない。GHS の定義における固体である。
急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	データ不足のため分類できない。混合物の約 97%は急性毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分からなる。
皮膚腐食性/刺激性	皮膚区分 1 の成分が 1%以上 5%未満の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 2 とする。混合物の約 83%は毒性が未知の成分からなる。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	眼区分 1+皮膚区分 1 の成分が 3%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1 とする。混合物の約 83%は毒性が未知の成分からなる。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。混合物の約 97%は毒性が未知の成分からなる。
皮膚感作性	皮膚感作性 区分 1 の成分が 1%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1 とする。混合物の約 96%は毒性が未知の成分からなる。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回)	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1(呼吸器系)の成分が 10%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1(呼吸器系)とする。混合物の約 77%は毒性が未知の成分からなる。
特定標的臓器毒性(反復)	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1(呼吸器系)の成分が 10%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 1(呼吸器系)とする。混合物の約 77%は毒性が未知の成分からなる。
誤えん有害性	データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期(急性)： $(M \times 100 \times \text{区分} 1) + (10 \times \text{区分} 2) + \text{区分} 3$ の成分が 25%以上の濃度で混合物に存在する。混合物を区分 3 とする。混合物の約 84%は毒性が未知の成分からなる。 水生環境有害性 長期(慢性)：データがなく分類できない。
残留性と分解性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動度	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)	産業廃棄物に準ずるものとして、許可を受けた専門業者にその処理を委託すること。
化学品の付着している容器及び包装	廃棄に際しては国、各自治体の適切な法律、条令等に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	UN 3077
品名(国連輸送名)	環境有害物質(固体)
国連分類	クラス 9
容器等級	Ⅲ
安全対策	輸送に際しては、容器の破損のないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。

国内規制

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 ・結晶質シリカ 約 0.22%含有 ・酸化チタン(IV) 約 2.8%含有
化学物質排出把握管理促進法	第 1 種指定化学物質 ・トリエチレンテトラミン 管理番号 278 約 1.1%含有 (2023 年 4 月 1 日以降、第 2 種指定化学物質)
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	指定可燃物 合成樹脂類 (3000kg)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の見取り表を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・この安全データシートは日本国内の SDS に関連する法令に準じて作成しており、記載内容は情報提供を目的とするものであって、保証するものではありません。

記載内容の問い合わせ先

因幡電機産業株式会社 電材カンパニー 商品統括部 J A P P Y 部

電話番号：06-4391-1990 FAX番号：06-4391-1753